

箱根駅伝の選手を激励に行ってきました

12月28日(木)に県同窓会三浦半島地区の昭和34年度卒同窓生の高貫洋子先輩・千葉哲人会長・吉田事務局長の三人で健志台キャンパスの陸上競技場に赴き、男子駅伝チームの渡辺正昭監督と出場選手の皆さんに、昨年12月の懇親会でお預かりした激励金を携えて、駅伝チームの激励に行ってきました。

その日は天気にも恵まれ、10時に選手は整列し、同部部長の体育学部教授横山順一氏の司会の元、会を進行していただきました。会の中では、最初は千葉会長から「ここに来て本学の部活動の成績が上がっているニュースを目にしている。ここで箱根駅伝上位入賞を



することで、大学全体の活動に勢いをつけることになる。神奈川県同窓会はこれを実現してもらうために、毎年募金活動を行い激励にお邪魔している。是非、目標の上位入賞を果たせることを期待します」と激励をしました。

また、高貫先輩から心温まる熱き激励の言葉がありました。その後選手代表の主将に会長から激励金を渡し、主将からは「練習の成果を発揮して、上位入賞できるよう全力を尽くします」と力強い言葉がありました。また、結びに渡辺正昭監督からお礼の言葉として「3位入賞を部一丸となって頑張りますとの力強いお話をいただきました。



今後とも同窓会として懇親会で集める激励費を持参し訪問したいのでご協力をお願いします。

